

看護計画立案を支援する人工知能の開発

1. 研究の対象

2010年1月1日～2020年3月31日の期間で、大阪大学医学部附属病院に入院した方

2. 研究目的・方法

本研究では、大阪大学医学部附属病院の看護記録を用いて、看護計画立案を支援する人工知能の開発を目指します。

【研究の期間】

調査データ該当期間：2010年1月1日～2020年3月31日

研究期間：施設長の許可日～2025年3月31日

3. 研究に用いる資料・情報の種類

年齢、性別、DPC、薬剤、熱型表、検査結果、看護記録、患者プロフィール、看護サマリ、退院サマリ 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

(担当者)

大阪大学大学院医学系研究科医療情報学・大学院生 小玉 伽那 (kodama@hp-info.med.osaka-u.ac.jp)

研究責任者：大阪大学大学院医学系研究科医療情報学・教授 松村 泰志